奥越 坂井

ローに
秀斗君

ニュース、催しなどの連絡は
三国支社　☎0776(82)1123　FAX(82)1139
丸岡支局　☎0776(67)0321　FAX(67)0688
大野支社　☎0779(66)2567　FAX(66)5667
勝山支局　☎0779(88)2011　FAX(87)3560

平泉寺 絵と音で表現

勝山で8日催し

絵画と音楽のコラボレーションで勝山市の国史跡白山平泉寺旧境内の世界を表現し、新たな魅力を探るイベントが8日午後7時から、同市民会館で開かれる。

世界遺産登録を目指す同史跡を全国発信する「平泉寺プロジェクト」の一環として市が企画。

国内外の世界遺産を描く日本画家、坂井昇さん（京都市）が平泉寺をモチーフにした新作を披露。ステージに絵を投影し、坂井さんが「世界遺産の魅力と白山平泉寺」と題し講演。山岸正裕市長とも対談する。

後半は、世界遺産白川郷の観光用映像の音楽を担当したピアニスト、山下行子＝Arico＝さん（京都市）のミニコンサート。坂井さんの絵を背景に即興で演奏する。

9日は午前10時から、坂井さんと一緒に史跡を巡る見学会を開く。参加希望者は白山平泉寺歴史探遊館まほろばに集合する。

8、9日とも無料。問い合わせは市史跡整備課＝☎0779(88)8113。

Aricoさん

坂井昇さん

町家活用に関する計画策定委員会の初会合＝6日、坂井市商工会三国支所

活用プロジェクト始動

坂井・三

坂井市の旧三国町市街地で空き家となっている町家の保存・再生を図り、観光誘客や商業再生を目指す市の「三国町家活用プロジェクト」の計画策定委員会の初会合が6日、同市商工会三国支所で行われた。

北前船交易で栄えた同市街地には、港町の風情を残す町家が数多く残っているが、人口減少などで空き家となっている。

プロジェクトでは、同市三国町北本町4丁目の三国湊町家館周辺にある空き家7軒を改修し、飲食店やショップ、工房などを誘致することでにぎわい創出を図る。県の「ふるさと創造プロジェクト」を活用し、同市の一般社団法人三國會所と協力して行う。

初会合には地元住民や部の野嶋慎一教授が委員長に選ばれ「面白い資源が数多くある。地元住民と連携して進めていきたい」とあいさつした。

市の担当者がプロジェクト概要を説明。委員からは「地元住民も気軽に利用できる憩いの場に」「事」などの意見が出た。

市は今後、地元住民らを対象にしたワークショップを計3回実施。どの空き家を活用するか、どのように改修するかなど意見を聞き、来年3月下旬までに計画を策定。来年度から改修を始める。

坂井農高

B−1向け大根収穫

「辛み隊」に1300本提供へ

収穫した辛み大根を手に笑顔を見せる坂井農業高生と辛み隊の隊員＝6日、坂井市坂井町の坂井農業高の畑

坂井農業高は6日、ご当地グルメの祭典「B−1グランプリ」（9、10日・愛知県豊川市）に初出展する坂井市のまちおこし団体「越前坂井辛み蕎麦であなたの蕎麦で辛み隊（辛み隊）」に提供する大根約1300本を収穫した。

同校近くの農場で生徒技術科の2年生12人が3種類の辛み大根を収穫。青い葉を土から引き抜くと、独特の辛みを蓄えた小ぶりな大根が次々と顔を出した。あわら市山室の農場でも、同科の1年生30人が普通の大根約1千本を収穫した。

同校近くの農場には「辛み隊」の隊員4人が駆け付けた。生徒たちに「グランプリが取れるよう頑張ってきてください」と激励されると、「皆さんの思いも胸に全力で坂井市をPRしてきます」と決意表明。後藤寿和隊長は「今から（辛み蕎麦に）使うのが楽しみ」と話していた。

収穫した大根は洗った後、7日に辛み隊に出荷される。

越前坂井辛み蕎麦は「大根おろしの搾り汁とだしを合わせたつゆをぶっかけて食べる蕎麦」と定義。普通の大根と辛み大根の汁を混ぜて辛さを調整する。B−1グランプリでは1万食以上の提供を予定している。

轟木新田が

坂井・あわ

坂井、あわら両市内でことし生産されたコシヒカリの出来栄えを競う「坂井地区美味い！米